

25/8/26 第2回名古屋市人権施策の推進にかかる有識者懇談会
名古屋市民オンブズマンによるメモ

座長：宮前隆文 近藤敦 小林直三 古田憲彦 犬飼千絵子（遅刻）

14：00

児玉人権部長：一部先生が到着していない

忙しいところ、熱い中ありがとう

議題・事業実績

報告・副市長以下人権施策推進会議

把握した差別事情全庁的に共有 有識者にも共有

名古屋市人権に関する検討会 7月14日第2回

実効性 相談窓口、紛争解決機関

多岐にわたる 今年度骨子案作成に向けて開催へ

忌憚のない意見を

傍聴市民 開催要綱 原則公開 ご理解を

傍聴 注意事項の順守を

これ以降は宮前座長に

宮前：暑い中ありがとう

人権擁護 小学生相手 バスケット人権教室

熱中症対策 昼間は運動するな

異常気象 夏休みに子ども相手にやりたい

早速議事 議題1

中林人権施策推進課課長補佐：8月開催 人権施策推進会議資料

令和2年3月策定

事業数 323 事業

☆☆☆ 8割以上 321 事業

☆☆ 5割以上 0

☆ 5割未満 2 事業

見直し 0

☆☆ 障害者への合理的配慮の提供への助成 点字メニュー スロープなど
令和6年10月から 目標110件→19件 分かりやすいチラシ

☆☆ ヘイトスピーチの抑止に向けた取り組み
平成28年度から庁内連絡会設置

令和3年度までは複数回
令和4年度以降開催していない
庁内連絡会の開催がなかった
・多文化 観光文化交流局
・施設 緑政土木局
平成28年6月解消法 意見交換必要があった
令和元年あいちトリエンナーレ 3年間
あいちトリカエナハーレ
令和4年度以降 落ち着いた
ヘイトスピーチ 公の施設 具体的な情報が上がってこない
一方 愛知県条例 初の認定
名古屋市 条例検討
今年度開催を検討 3年間開催してこなかった メンバーの入れ替わ

り

共通施策
分野別施策
別添1は割愛

14:16

宮前：質問は

小林：庁内連絡会が開催されなかった
これまでは公の施設の利用
今後は広げる？

中林：状況は落ち着いている
公の施設に限らない

小林：今ならネット ヘイトスピーチ
選挙期間中の問題 許されないことは許されない
一定の政治活動 配慮が必要 検討して
2つ以外は8割以上達成？
報道ベース 教育関係でいろいろ問題
教員盗撮問題 いじめ提訴
それ以前も相対評価か絶対評価か 市民の信頼を損なう
計画した事業達成しているにもかかわらず？

計画時点で抜け落ちているのでは
修正するとか必要 教育関係は気になっている
対応するだけではなく「こう対応した」市民に説明
市民の信頼を回復できない
「ちゃんとやっている」 市民に説明するところまでやって

宮前：今の点

名古屋市：今の意見を担当部署にきちんと伝えたい

近藤：分野別 性的少数者
様々な人権分野 性的少数者は載せてほしい

中林：現在はセクシャルマイノリティは出てこない
おおむね5年で検討
条例が制定されたら基本方針の見直しをしたい

近藤：45, 6ページには3つくらい
これを表紙に載せるかどうか

名古屋市：今後 新しくなった際

犬飼：障害者合理的配慮 チラシ作っても申請していい？
次チラシ こういう風に使った 実例を
障害者がよくいく地域に配布を

中林：所管課に伝える

宮前：議題1はこれまで
議題2

14:26

中林：差別事象
令和6年度 報告 今月の庁内会議で共有
人権監理者 各部局少なくとも1名
令和7年2月 運用期間2か月程度

報告件数 5件 差別事象

- ・ ネット 1件 某地域が被差別部落
→法務局に削除要請 愛知県と調整
- ・ その他 2件 市民の声 外国人に対する差別→回答に配慮をと記載
空き缶 抜き取り口論 →所属長から注意 人権研修
人権監理者への相談
- ・ チェックリスト1件 市民説明会対応 1名→複数で
- ・ その他 1件 動画の表現

14:33

宮前：質問意見は

小林：件数は少ない

- ・ この数はあまり問題がない？
 - ・ 報告・収集が機能していない？
- 事務局としては数をどう理解しているのか

中林：差別事象、人権監理者への相談

差別事象 名古屋城市民討論会検証委員会 再発防止に向けた取り組み
差別事象が起こった際に報告 ガイドブック見直した
昨年度8月からマニュアル 周知した
事案があれば報告
そのほか 様々な差別事象ではない 記録制度がある
記録する中で、もしかしたら含まれるかも
ほかのもので記録されていても報告してほしい
結果的に3件 埋もれていたか確認が難しい
会議で資料 案件があった 町内に周知 漏れがないように
「こういったものも報告するんだな」
新たな制度がはじまったばかり 浸透してない

名古屋市：障害者差別 解消法、職員対応要領 すでに報告

副市長以下情報共有 既存の制度がある
障害者差別 集約して広報する
かぶる分とかぶらない分
障害はすでに周知している これに含まれない

小林：そちらの件数は

中林：健康福祉局とりまとめ

障害者 職員に寄せられたものが6件

別に障害者差別相談センター 5件 合計11件ほど

小林：どういうふうに行ったらいいのかアイデアはない

「口論になった」

報告を受けるだと、不適切な発言、通報すれば報告としてあがってくる

差別意識がなかった場合、報告としてあがってこない

そこが一番重要 どう把握するか

オフィシャルな報告ではないこと

意識していない人 直しようがない 根深い問題

2点目 事案1 ブログ 書き込みがあったと職員が確認→モニタリング

案件 1件しか発見しない？もっとあるのでは

ネット上に1件しかなかった？

名古屋市：通常業務していたたまたま発見

モニタリング 毎週1回 文化センター 特定 2ch、バクさい

1時間ほど差別書き込みチェック

小林：愛知県モニタリング 誹謗中傷出ている

関係でいくと たまたま

宮前：他には

近藤：外国人差別 具体的には

中林：交通局案件

地下鉄工事業者に対して 外国人2名

喫煙「外国人には常識が通用しない」→交通局「確認したが事実はない」

犬飼：事案2 回答に記載

市民の声 回答を公表する？

中林：市民の声 どんな声、回答 市民に公表する制度

通常はそのまま公表の流れ この件は当該部分は削除 その他公表

犬飼：それで差別になると問題
全部排除？

宮前：ほかはない
資料3

14:45

名古屋市：ソレイユなごや
来客数増加

宮前：質問は

古田：非常にきめ細かく書かれている
靴づくり ソレイユと吉田さんの狙い 合致？
どういう狙いか
靴づくりを継続的 革細工小銭入れなどは？
スタンプラリー 景品 ネットでわからない

名古屋市：靴づくり 人権セミナー
吉田さん講師 革細工
啓発意図 部落差別問題の啓発 革産業の歴史触れてから楽しい作業
吉田さん 10年以上合致
違う財布など革製品 吉田さんとも話をする
予算も変わる
スタンプラリー 伏見にある科学館、美術館、でんきの科学館 共同で
夏休みでやっている
普段の啓発品 スタンプラリー用の景品 各地から提供
少しずつ景品違う ホームページに掲載していない
写真そのものではなく、色鉛筆、定規など 名称なら記載が可能
写真を載せるかは検討

古田：ネットを見るとたくさん事業
一般の保護者 見られる 情宣する方法
市広報に載せられないか

誰もが気が付くように

宮前：予定は終わり

14：52

児玉部長：ありがとう

意見頂戴

次回はまた伝える

14：53